

第1回 鳥栖駅周辺デザインワーキンググループ

(省略名称:鳥栖駅周辺デザインWG)

◆「第1回 鳥栖駅周辺デザインWG」を開催しました！

令和8年2月10日(火)に、「第1回 鳥栖駅周辺デザインWG」を開催しました。今回のWGでは、鳥栖駅東短期施策のこれまでの協議・検討結果の報告、鳥栖駅周辺の現地状況の確認やこれらを踏まえた駅周辺の将来ビジョンの方向性等についての意見交換を行いました。

開催概要

- ◇日 時：令和8年2月10日(火) 14:00~16:30
- ◇会 場：駅前不動産スタジアム
- ◇参加メンバー：学識者、デザイン有識者、地元スポーツ企業関係者、商工関係代表者、商店街代表者、公共交通機関代表者
- オブザーバー：佐賀県、鳥栖市



◆「鳥栖駅周辺デザインワーキンググループ(省略名称:鳥栖駅周辺デザインWG)」とは？

鳥栖駅周辺における課題解決に向けた「鳥栖駅東短期施策えき・まちづくり計画」の計画策定に向けて、市民や関係者と一緒に市民目線での検討を行い、持続可能なまちづくりを目指すことを目的としています。

◆鳥栖駅東短期施策とは？

鳥栖駅周辺の抱える課題の解決に向け、「鳥栖駅東口等の開設」、「虹の橋回遊性向上検討」、「にぎわい・滞留空間の創出」及び「複合機能の検討(既存駅舎)」の4つの取り組みを鳥栖駅東短期施策として段階的に進めることとしています。

鳥栖駅周辺デザインWGでは、このうち「にぎわい・滞留空間の創出」と「複合機能の検討(既存駅舎)」について議論を行うこととしています。

◆主な意見

■鳥栖駅東短期施策の検討状況・鳥栖駅周辺デザインWGの実施方針について

- ・鳥栖駅周辺の将来ビジョンの方向性(コンセプト等)について検討を行う。
- ・鉄道高架化は数十年後を見据えた長期課題であるため、短期的な施策として将来のまちづくりに繋がる魅力向上を図る。
- ・持続可能なまちづくりとして推進体制や仕組みの検討を行い、「選ばれるまち」を目指した検討を行う。



出典：「駅まちデザインの手引き」
国土交通省 駅まちデザイン検討会



■(仮称)鳥栖駅周辺えき・まちづくり計画の骨子素案について

- ・コンセプト、方向性の設定は鳥栖市のブランディングに繋がるものが良いのではないか。
- ・西側と東側において、両者が支え合うまちづくりの方向性について検討したほうが良いのではないか。
- ・平日と休日における運営の仕組み、企業連携による運営体制などを検討したほうが良いのではないか。

【参考】将来構想イメージ(2-1案) ※令和7年8月時点



◆今後の予定

第2回 鳥栖駅周辺デザインWG(令和8年5月頃開催予定)では、①「にぎわい・滞留空間の創出をどう実現するか」、②「新たな西側への機能導入をどう実現するか(既存駅舎)」の2つのテーマについて議論を行う予定です。